

かながわ版防災教育カリキュラム

上段：单元名

下段：災害と関連する内容

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
テーマ	「命を守る自分になるう」 ～命の大切さを理解する～		「家族と一緒に考えよう」 ～災害に向けて備える～		「自分のためにできること、人のためにできること」 ～日頃から小学生として何ができるか考える～		「災害を知り、防災を考え、地域で率先して行動しよう」 ～自分の命を守り、地域の力になれる中学生！～		
到達度目標	火事の時に煙を吸わずに逃げることができる	自分一人でも自分の身を守る行動をとれる	家族と離れていても一人で避難し家族とおちあうことができる	災害に向けて備えの大切さについて家族と話し必要を備えを実施している	災害を生き抜くための知恵と技が身についている	防災について自分達ができることを考え行動する力を身につけている	地域の危険箇所を理解している	地域における安全な避難の仕方を理解している	災害時に地域の中で自分達にできることを理解している
総合			②総合・学活 ・地震に向けて備えよう ・身の周りの安全について考えよう ・防災家族会議の報告会をしよう ・火災の発生原因と危険 ・風水害等の危険 ・5年生の「防災発表会」を見学し自分の命を守る必要を知る	②総合・学活 「防災を考えよう」 ・パケツルレー ・持ち出し袋クイズ クイズ形式で学ぶ	「防災発表会」 ・自分の命を守る必要を知る	「防災」 ・過去の地震について ・自宅の危険箇所を知ろう ・防災センター見学 「ハザードマップ作り」 「防災新聞作り」	「地域の危険箇所点検」 ・地域安全マップ作り 「地域防災訓練の啓発」 ・地域の防災訓練に参加し顔なじみになろう	実施する順番は、 ①DIG 地域の特性を知る ②逃げ地図 適切な避難ルートを考える ③HUG 避難後の状況を体験するの順で行うと良いです。	
			DIG		DIG		逃げ地図 HUG		
特活	①「避難方法を学ぶ」 ・煙を吸わない（火災） ・頭を守る（地震） 「ぼうさいダック」 *保護者に通学路の危険を児童と話し合うことを提案	③「地震が起きたら」 ・教室以外の場所でも身を守るができる	様々な自然災害時の危険と災害時の避難の方法について理解し安全に行動できるようにする		災害の種類程度等に応じた安全な避難行動ができるとともに、通報や初期消火など二次災害の防止などについて体験的に理解できるようにする ・自分自身が安全に避難するとともに、下級生の安全に気を配る ・家庭での災害への備えについて理解できるようにする		学活 ・地域の関係機関と連携した実践的な避難訓練の実施や地域と一体となった防災訓練の実施等により、進んで防災対応能力を身に付けようとする態度を育てる ・災害時の安全な避難の仕方と日常の備え／・地域の安全／・災害への備えと協力（地域の一員として）／ ・自然体験学習（野外での安全・火気取り扱いの安全）／・地震による津波の危険と避難／・落雷の危険や風水害／ ・水泳 水の事故と安全（体育）／・降雪時の安全		
	道徳	・健康や安全に気を付ける ・生命を大切にすることを		・生命の尊厳 郷土愛		・生命の尊厳を感じ取り、生命あるものを大切に		・生命の尊重・集団の意義・法の遵守・社会との連帯・郷土愛と人間愛 ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する ・奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める	
生活	②がっこうたんけん、こういてんけん ・学校内のいろいろな場所にいるときに地震が発生したらどうするか	②まち探検 ・町の中にいるときに地震が発生したらどうするか ・通学路の様子などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする	学年ごとに単元名について①②・・・の順で学習すると、災害や防災についての学びがより深まります。教科書によって実施の時期や順序が異なっても問題ありません。		DIG・HUG・逃げ地図と関係する単元（DIG）（HUG）（逃げ）と表記しています。				
	社会	黄色の太枠は、各学年で必ず取り組んでほしい内容です。		①安全な暮らしとまちづくり（DIG）（逃げ） ・避難場所や避難経路などの確認。 ・地域の魅力を確認し災害が来るとも教える ・まちの危険な所を探そう ・消防署などの見学し役わりを聞こう	①昔の暮らしとまちづくり（DIG）（逃げ） ・水はどこから ・地震に備える ・今後大きな地震が来るとを教える。 ・過去の災害を知る。 ・緊急避難場所や防災に関する設備を調べよう ・防災新聞作り ・非常持ち出し袋を考えよう ・家族に提案しよう	①住みよい暮らしと環境 「国土の自然とともに生きる」（DIG）（逃げ） ・防災行政無線の役割、津波警報や注意報について教える。 ・地域の魅力を確認し災害が来るとも教える ・産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。	②郷土史 ・過去に日本で起きた自然災害の被害を教える。 ・自分たちの住んでいるところで過去に発生した災害や被害を調べる。 ・地域の防災まちづくり活動を紹介する。	（地理） ◎ ▲ ★ ◆ 身近な地域の調査 ②自然災害とその対策 ・地域の地形や気候などの特色を知り、自然環境が地域の人々の生活や産業と深い関係を持っていることを調べる。 ・「関東大震災」などのテーマで調査する。 ・対策として、緊急地震速報、避難勧告・指示などを教える。	（歴史） ◎ ▲ ★ ◆ 第一次世界大戦 大衆文化の形成（現代史） ②阪神大震災・中越地震・東日本大震災 ・関東大震災の記述から、今後、災害が発生した際に起こりうる社会問題について教える。
理科				電気の通り道 ・電気を通すもの、通さないものと関連し雷のしくみを教える。	天気による気温の変化 ・天気の様子、月や星の位置の変化を運動、季節、気温、時間など関係付けながら調べる。	②台風と天気の変化 流れる水の働き（DIG）（逃げ） ・地面を流れる水や川の様子を観察し、流れる水の速さや量による働きの違いを調べる。 ・洪水や高潮等から街を守るための施設として、護岸工事や防潮堤工事がおこなわれていることを紹介する。	◆ ①地震による大地の変化（DIG）（逃げ） ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを教える。 ・地震のしくみと被害の様子を教える。 ・実験中に地震が発生した場合に起こりうる事故とその予防や対応の仕方を教える。	◎ ▲ ①ゆれる大地、大地の変化（火山活動と地震） ・プレートテクトニクスについて理解する。関連させて、津波の発生メカニズムを教える。	◆ ①天気とその変化 ・台風、竜巻、集中豪雨等について調べる。
	国語	防災ポスターを作ろう		・災害に関する図書を読む 1 宝物を探しに 2 防災カルタを作ろう ・1 から「災害がおこったら」という題材にした作文へ発展させる。 ・2 で安全について皆につたえよう	・作文活動や感想を書く 伝えたいことをはっきりさせて書こう ・災害に関する新聞記事を例として用いる。	③目的に応じた伝え方を考えよう 「十秒が命を守る」 ・「ここでは有珠山の噴火をニュースにしたときのお話でしたが、津波がきたらどんな内容のニュースになるでしょうか？」といった感じで発展させる。	・レポートを書く学習で津波や災害を題材とする	・防災をテーマとした新聞作り ◆：風水害（大雨、台風、洪水、土砂災害、竜巻） ★：地震＋津波 ▲：火山	
数 算 学 数			①長いものの長さや単位（逃げ） ★ ・津波の高さを用いて問題作成	時刻と時間 ★ 長いものの長さのはかり方 ・津波の到達時間や津波の長さを用いて、単位の変換に関する問題をつくる。		百分率とグラフ ★ ・〇〇地震などの今後発生する確率を用いて、問題をだす。	速さの表し方（逃げ） ★ ・津波の速さを例にした問題をつくる。	④1次方程式 ★ ・速さ、時間、道のりの問題を津波避難を例にして作成する。	④連立方程式 ★ ・速さ、時間、道のりの問題を津波避難を例にして作成する。
	英語								Tsunamiに関する図書や資料をテキストとして用いる
体育	・着衣泳で水中歩行の困難さを体験 ・水の速さと流れの強さを知る ・水泳の事故防止								
保健	本カリキュラムの使い方 1. このカリキュラムは、防災教育を学校全体の取り組みとして位置付ける仕組みを作るために作成しました。これをたたき台に、各学校の防災教育カリキュラムを作り上げて下さい。 2. 各学年の学習内容で災害や防災と絡められる単元を抽出したものです。これさえやれば大丈夫、というモノではありません。 3. すでに取り組んでいる内容や、先生方が授業をする中で、「これも防災と関係ありそう！」と思うことがあれば、どんどん書き足してください。 4. 行事の欄を作り、訓練の計画を書き込むと、より全体像が見えやすくなります。		#	④怪我の防止・手当 「心の健康」（HUG） ・災害がきたら、どんなけがをする可能性があるのか、またそれを防ぐためにはどうしたいのかを考えさせる。	病気の予防（HUG） ・病気の起こり方 ・感染症の予防	③傷害の防止 ・自然災害に備えて ・応急手当の意義と手順 ・災害発生時に起こりうけがや、それを防止するための対策について教える。 ・救命救急法（心臓蘇生法、AED、毛布担架など）を教える。 ・心身の発達と心の健康（HUG） ・健康と環境（HUG） ・傷害の防止・疾病の予防・健康と生活（HUG）			
				作っておいしく食べよう 快適な住まい方を考えてみよう（HUG） ・災害が発生した場合には、“炊きだし”といって、避難場所で自分たちが食事をつくる必要があることを伝える。 ・調理実習中や料理中に地震が発生したときの対処方法を教える ・活動例として、「地震から身を守るためのくふう」を考える。	③地域とのつながりを広げよう 自分ができることをやってみよう（HUG） ・地域の人から過去の災害の話を聞いてみる。 ・いざというときに、何ができるのかを考える。	快適に住まう・自然とともに住まう（逃げ） ・災害に対する家屋の安全対策（家具の固定など）や非常持ち出し品として用意しておくものを教える。 ・調理実習を炊き出し訓練としておこなう。 （技術） ・段ボールトイレをつくる ・通電火災を防ぐ（避難時にブレーカーを落とすなどの対策）			
図工美術	防災ポスターを作ろう								
音楽	「花は咲く」(東日本大震災復興支援ソング)、「ひまわり」(葉加瀬太郎)、「空より高く」(合唱曲)、「RESTART JAPAN」、「家に帰ろう」(LAWBLOW)								